

平成 28 年 11 月 17 日

第 62 回日本水環境学会セミナーのご案内

「生物を用いた水環境の評価・管理（改善）手法（日本版 WET）の最新動向と今後の展望」  
（旧タイトル「生物応答を用いた排水管理手法（日本版 WET）の最新動向と今後の展望」）

平成 21 年に環境省の「今後の水環境保全に関する検討会」による中間取りまとめにおいて、生物応答（バイオアッセイ）を利用した排水管理手法の有効性について検討すべきとする提言がなされ、既存の規制を補完する新たな排水管理手法（日本版 WET）の導入について平成 22 年度から継続的に検討されてきました。平成 27 年 11 月には、環境省の「生物応答を利用した水環境管理手法検討会」が取りまとめた報告書「生物応答を利用した排水管理手法の活用について」が公表され、広く意見が募集されました。これを受けて、平成 28 年度には産業界の専門家も含めた幅広い分野の関係者によって構成される新たな検討会が設置され、引き続き様々な課題について検討が進められる予定です。本セミナーでは、現行の水質環境基準に関する動向から、日本版 WET 導入の課題、事業場排水および下水への適用事例、地方環境研究所の取り組みまで、各分野の専門家をお招きし、最新情報および今後の展望についてご講演いただきます。

主催：（公社）日本水環境学会

期日：2017 年 1 月 30 日（月）9：55～16：40

場所：自動車会館大会議室（東京都千代田区九段南）

<http://www.jidosya-kaikan.com/map.html>

参加費（税込）：会員 7,000 円、学生会員 3,000 円、非会員 15,000 円、学生非会員 4,000 円

定員：先着 130 名

申し込み方法：FAX、E-mail、参加申込書またはハガキに

- ① 参加者氏名（フリガナ）
- ② 会員・非会員の別
- ③ 会員の場合は会員番号
- ④ 連絡先（所属団体名、住所および電話・FAX 番号）

をご記入の上、下記宛てお申し込みください

また、参加費を **1 月 20 日まで**にお振込みください。

入金を確認後、参加証（ハガキ）をお送りいたします。

参加費振込先：三菱東京 UFJ 銀行 市ヶ谷支店（普通）0754950

（公社）日本水環境学会セミナー口

シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行を希望される方は当日受付においてその旨を申し出てください。

申し込み・問い合わせ先：

（公社）日本水環境学会 セミナー係

（E-mail: [togawa@jswe.or.jp](mailto:togawa@jswe.or.jp)）

〒135-0006 東京都江東区常磐 2-9-7 グリーンプラザ深川常磐 201 号

TEL. 03-3632-5351 FAX. 03-3632-5352

ホームページ URL：<http://www.jswe.or.jp/event/seminars/seminar.html>

第 62 回日本水環境学会セミナー  
「生物を用いた水環境の評価・管理（改善）手法  
（日本版 WET）の最新動向と今後の展望」

プログラム

9：20－9：55 受付

9：55－10：00 開会の挨拶

10：00－11：00 生物を用いた水環境の評価・管理（改善）手法に関する検討について

環境省水・大気環境局水環境課排水基準担当 甲斐 文祥主査

現行の水質環境基準の考え方、公共用水域の水質状況、今後の水質管理における課題等、水環境基準を取り巻く最新の動向と WET 試験に求められる役割等についてご講演いただきます。

11：10－12：10 生物応答を用いた排水管理手法の導入と課題

国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター

リスク評価科学事業連携オフィス 生態毒性標準拠点 鎌迫典久 主席研究員

WET 試験の概説、国外の導入状況等についてご紹介いただいた上で、日本に導入するための課題とその解決策等についてご講演いただきます。

～昼休み～

13：10－14：10 事業場排水への日本版 WET 試験の適用と毒性削減・同定（TRE と TIE）

富山県立大学環境工学科 楠井隆史教授

事業場排水に WET 試験を適用し、排水の毒性を削減・同定した事例およびその課題と展望についてご講演いただきます。

14：20－15：20 下水処理水への日本版 WET 試験の適用

国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ水質チーム

武田文彦研究員

WET 試験を用いて下水放流水を評価した事例および下水に適用していくにあたっての課題と展望についてご講演いただきます。

15：30－16：30 地方環境研究所の日本版 WET 試験への取り組み

名古屋市環境科学センター 環境科学室長谷川 絵理 研究員

WET 試験を用いて公共用水域の環境水を評価した事例および地方環境研究所が WET を適用していくにあたっての課題と展望についてご講演いただきます。

16：30－16：40 閉会の挨拶

\*講師の都合等で内容や時間等一部変更となる場合があります。